

# 「尾駁の駒・牧の背景を探る」 刊行記念

## フォーラムスペシャル

### 尾駁の駒・牧 総括パネルディスカッション

◇日 時:令和元年 9月 8日(日) 午後1時より

◇会 場:六ヶ所村文化交流プラザ・スワニー 大会議室

◇入場料:無 料

### 斯界の第一人者勢揃い!



〈テーマ〉

六ヶ所村倉内 唐貝地地区「金堀沢遺跡」

- ・「尾駁の駒・牧」の実態はいつから、いつまであったのか？
- ・古代の馬産は日本史の中において、いかなる位置づけになるのか？

◇パネラー:〔考古学〕 松本建速(東海大学歴史学科考古学専攻教授)  
田中広明(埼玉県埋蔵文化財調査事業団資料活用部長)  
高橋照彦(大阪大学大学院文学研究科教授)

〔歴史学〕 入間田宣夫(東北大学名誉教授)  
堀井佳代子(国際日本文化研究センター技術補佐員  
・同志社大学講師)

◇司 会:工藤清泰(元・青森県考古学会会長)

※午後3時40分より、パネラー講師を囲んで「フローア懇親会」を開催致します。〔参加費:500円〕  
ご参加ご希望の方は、事前申し込みを賜ります。〔◇受付 会長携帯:090-3752-0935〕

◇主催:六ヶ所村『尾駁の牧』歴史研究会

◇協賛:六ヶ所村まちづくり協議会, 六ヶ所村文化振興公社, 六ヶ所村郷土館, (株)北商物産, (有)平成運送  
(株)原燃環境, 祭や, 六一書房, トーヨー工業(株), スマイル古川店, 遠田秋月堂

◇後援:六ヶ所村, 六ヶ所村教育委員会, 八戸市教育委員会, 十和田市教育委員会, 三沢市教育委員会,  
野辺地町教育委員会, 七戸町教育委員会, 六戸町教育委員会, おいらせ町教育委員会,  
東北町教育委員会, 横浜町教育委員会, 東奥日報社, デーリー東北新聞社

『尾駁の駒・牧の背景を探る』刊行記念

“フォーラムスペシャル”「尾駁の駒・牧 総括パネルディスカッション」

開催実施要項

1. 目的

当会設立以来の研究テーマである、当地が“尾駁の牧”の比定地であり、平安時代、馬の交易によって京の都とつながっていたのではないかという歴史的背景へ、より具体的且つ学術的に近づくため、過去六年間、村外の著名な講師陣をお招きしフォーラムを開催し、その専門的な立場から意見を述べてもらい、その学術的研鑽を後世への知的財産として残すべく、この度『尾駁の駒・牧の背景を探る』を編纂・刊行するにいたった。

ついでに、その本書内容を、当村の薫り高い歴史文化の新たな側面として、改めて村内外へ情報発信することを目的として、今一度、本書執筆者・斯界の第一人者をお呼びして、今テーマの総括パネルディスカッションを実施する。

2. 発表の要旨

今総括パネルディスカッションは、シリーズ化したテーマ『尾駁の駒・牧の背景を探る』の刊行記念として、改めて、その「尾駁の駒・牧」の実態とはいつからいつまでであったのか？ また、古代社会における馬産は、日本史の中においていかなる位置づけだったのか？を、碩学である、それぞれの斯界の第一人者をパネラーとしてお招きし、古代王朝社会における「尾駁の駒・牧」の実態に迫るべく、推理・予言してもらおうべくディスカッションを開催する。

- 3. 開催日時 令和元年 9月 8日（日） 午後1時00分～午後5時00分まで
- 4. 会場 六ヶ所村文化交流プラザ・スワニー「大会議室」
- 5. 入場料 無 料
- 6. 主催者 六ヶ所村「尾駁の牧」歴史研究会
- 7. 日程と内容 “フォーラムスペシャル”「尾駁の駒・牧 総括パネルディスカッション」

13:00 ~ 13:05	1. 主催者挨拶
:10 ~ :15	2. 来賓祝辞
13:20 ~ 15:20	3. 総括パネルディスカッション（120分）〔司会：工藤 清泰氏〕 ＜テーマ＞ ・「尾駁の駒・牧」の実態はいつからいつまでであったのか？ ・古代の馬産は、日本史の中において、いかなる位置付だったのか？ ＜パネラー＞ ・考古学—松本 建速氏、田中 広明氏、高橋 照彦氏 ・歴史学—入間田 宣夫氏、堀井 佳代子氏
(15:20~15:40)	[ 休憩 20分 ]
15:40 ~17: 00	4. フロアー懇親会（80分）（パネラー講師を囲んで） ※ご参加ご希望の方は、事前申し込みを賜ります。〔参加費：500円〕 （会長携帯：090-3752-0935）